

公益社団法人 日本雪氷学会北海道支部 2021 年度第 2 回理事会（議事録）

1. 日 時

2021 年 6 月 18 日（金）13 時 00 分～14 時 10 分

2. 場 所

札幌市立大学 会議室（札幌市中央区南 1 条西 6 丁目 20-1 ジョブキタビル 9 階）、及び
オンライン（zoom）

3. 出席者

出席者：松澤、高橋、松下、東*、千葉*、永田*、澤田、今西*、大島*、石川*、山野
井*、日下*、飯沼*（敬称略）（以上 13 名）

委任状：廣川、舘山（敬称略）（以上 2 名）

オブザーバ参加：高橋監事

※進行役：高橋、記録：松下（以上、敬称略。*オンライン参加）

4. 議 事

(1) 総会と第 1 回理事会の議事録の確認（報告）

- ・ 松下理事より、総会と第 1 回理事会の議事録の説明があった。（特に意見はなし）

(2) 理事、監事、顧問、評議員の確認（報告）

- ・ 松下理事より、2021 年度の支部理事、監事、顧問、評議員の説明があった。

(3) 理事の役割分担、理事会の年間スケジュールについて（審議）

- ・ 松下理事より、理事の役割分担案と支部メーリングリスト、理事会の年間スケジュール案について説明が行われた。役割分担の変更等の意見はなかった。また、支部理事会の開催は、本部理事会の前を基本とすることが確認された。

(4) 2021 年度支部研究発表会の総括（報告・審議）

- ・ 石川理事より、オンラインで開催した研究発表会の参加者数や発表件数、事前準備における課題点などが報告された。
- ・ 参加者への Zoom アドレス送付の個別対応が大変であったことに対して、大島理事より当日の開催 15 分前に公開する方法がある等の意見があった。
- ・ 千葉理事より、投稿料による収入が例年より少ない見込みであり、今後「北海道の雪氷」発刊の際には検討を要する可能性があることが補足された。
- ・ 来年度の開催方法について、対面とオンラインのハイブリッド開催や動画配信などの方法があるとの意見があった。ただし、ハイブリッド開催の場合は、多くの機材

や要員、コストが必要になる。来年度の開催方法については、今後の感染症による社会情勢も鑑み、引き続き検討することとなった。

(5) 雪氷学会北海道支部の情報発信方法について (審議)

- ・ 澤田理事より、支部 HP の他支部のリンク貼付け等の修正案や Facebook、twitter、You Tube を活用した情報発信について提案が行われた。
- ・ 審議の結果、提案の方向性について反対意見はなかったが、支部 HP 改変の権限の範囲や管理者が不明な SNS があるため、まずは本部対応理事(松下)と広報(HP)担当理事でこれらを整理した上で、今後も審議を継続することになった。

(6) 講演会「雪崩から身を守るために」について (報告)

- ・ 山野井理事より、共催行事である講演会「雪崩から身を守るために」の開催予定と準備状況について報告が行われた。10月下旬に北大での開催を予定しているが、詳細については、共催者とこれから検討することが説明された。

(7) その他

- ・ 飯沼理事より、サイエンスパークについて、会場(7/29~30)とオンライン(7/19~8/31)の両方に参加する予定であり、準備を進めていることが報告された。
- ・ 今西理事より「雪氷」の著作権譲渡承諾書の変更について、支部もこの変更に対応すべきか意見があった。今後、本部対応理事(松下)が編集委員会等の議論などを整理した上で、事業(北海道の雪氷)担当理事が対応すべきか検討することとなった。
- ・ 地域講演会について、館山理事からの現段階の計画を松下理事が代読し、今年度は You Tube 等を活用した方法を計画していることが報告された。
- ・ 次回理事会は2021年8月上旬を予定し、庶務担当理事から日程調整の連絡を行う。

以 上